

令和7年度 第1回島本町文化財保護審議会

日時：令和7年6月20日（金）
午後2時00分から

会場：島本町ふれあいセンター
健康教育指導室

1 会長・副会長選出

2 教育長あいさつ

3 議事

第1号報告 水無瀬家所蔵資料調査について

第2号報告 令和6年度 歴史文化資料館事業等報告について

4 その他

水無瀬家所蔵資料調査について

1 調査年度

令和5年度から令和9年度（5か年度）

2 資料数について（令和7年6月10日現在）

資料総数：14,326点（増減あり）

【内訳】

近世史料：493点

近世和歌資料：2,170点

近代史料：9,257点

近代和歌資料：2,406点

3 令和6年度の調査成果について

(1) 近世史料

目録確認終了、古文書ラベルの貼り付け等を実施。

(2) 近世和歌資料

資料目録データの確認（1回目）、紙目録項目協議及び収納箱の確定等を実施。

(3) 近代史料

貴族院議員関係資料の目録確認、経費関係資料や書簡類の調査・史料目録データ作成、印刷物資料類の目録再確認及び紙目録項目協議等を実施。

(4) 近代和歌資料

資料調査・資料目録データ（令和5年度及び6年度合計約2,200点）の作成及び紙目録項目協議等を実施。

4 令和7年度調査について

(1) 近世史料

紙目録の作成及び校正等を実施。

(2) 近世和歌資料

資料目録データの確認（2回目）、紙目録の作成及び校正等を実施。

(3) 近代史料

書簡、広告類及び親族関係書類の資料調査及び資料目録データの作成を実施するほか、印刷物類の紙目録の校正等を実施。

(4) 近代和歌資料

資料目録データの作成・確認及び紙目録の作成や校正等を実施。



写真1 令和6年度第2回調査会議実施状況



写真2 令和6年度第2回調査会議実施状況（於：水無瀬神宮）



写真3 資料返却候補場所確認状況（於：水無瀬神宮 神庫）

令和6年度 文化財調査活用事業(水無瀬家所蔵資料調査)概要

1. 事業の概要及び目的

大阪府三島郡島本町広瀬に鎮座する水無瀬神宮で神職を司る水無瀬家は、藤原北家・藤原道隆^{みちたか}（953－995）の流れを汲む家筋で、水無瀬親信^{ちかのぶ}（1137－1197）を家祖とし、3代・水無瀬信成（1197－1262）が後鳥羽天皇を祀る水無瀬殿の御影堂（水無瀬神宮の前身）に奉仕して以来、約800年間神職を務める家柄です。

水無瀬家が所蔵する資料の一部は既に調査が実施されています。過去には大阪府が主に中世文書を調査し、昭和15年（1940）に『大阪府史蹟名勝天然記念物調査報告書第11輯水無瀬神宮文書』を刊行したほか、島本町が昭和51年（1976）に刊行した『島本町史』の編纂時にも調査が実施されています。

本事業では、これまで内容が明らかになっている資料以外で、神庫に保管されている資料の悉皆調査を行い、調査成果をもとに広く資料の公開・活用を図ることを目的としています。

2. 全体の事業期間

令和5年4月～令和10年3月（5か年）



写真1 水無瀬神宮客殿 桃山時代 重要文化財

3. 令和6年度事業費及び補助金額

事業費 3,131,744 円

（国庫補助金 1,500 千円）

4. 令和6年度の調査概要

主に江戸期から近代の和歌資料をはじめ、近代史料（明治期から昭和期の帳簿類や書簡類など）を中心に調査を実施し、文書名や法量、形状、紙数などの項目について目録を作成しました。また、目録作成が終了した近世史料及び一部の近世和歌資料についてラベルの貼り付けを行いました。

また、調査事業の中間報告展示「水無瀬家の逸品 一所蔵資料調査から一」を歴史文化資料館で開催しました。



写真2 水無瀬神宮茶室 江戸前期 重要文化財



写真3 古文書ラベル貼り付け作業

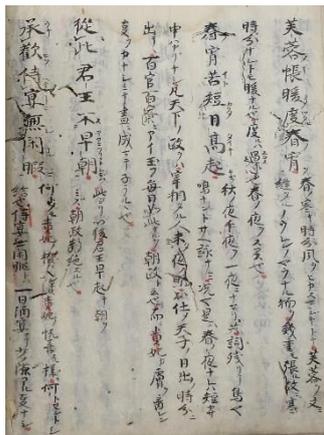
5. 近世和歌資料の調査（令和6年度）

ここに紹介するのは、水無瀬兼成（1514～1602）が書写した『長恨歌・琵琶引』（以下、「原典」）とその注釈書『長恨歌・琵琶行抄』（以下、「抄」）です（以下、紙幅の都合から、「長恨歌」のみを扱います）。

中唐の詩人・白居易が、唐の第六代皇帝・玄宗と楊貴妃の悲恋を描いた『長恨歌』は、今なお日本で親しまれている漢詩ですが、平安時代以降、多くの和歌に詠み込まれてきました。室町時代にも歌題となり、理解のための講義も開かれました。『長恨歌』は歌人必読の詩であったわけです。

室町時代には漢詩・漢文に当時の話しことばも交えて注釈が施されることが多くありました。そのような書物を現在「抄物」と呼びます。『長恨歌・琵琶行抄』もそのひとつです。

玄宗が貴妃を寵愛するあまり朝の政がおろそかになったことが「原典」では「春の宵苦短く日高けて起きたまふ」（原典の訓点に従い訓読）と詠まれますが、「抄」は「秋の夜千夜ヲ一夜ニナセリ共、詞残リテ



図版1

鳥ヤ鳴ナントサへ詠ケルニ…」と『伊勢物語』第二十二段の和歌を挙げます（図版1）。和歌を理解する人が読者として想定されていたのです。

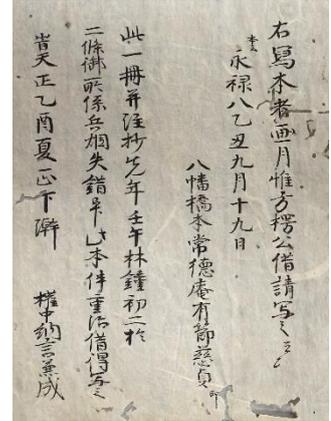
また、「芙蓉の帳」を説明して「芙蓉ヲ文ニ縫タルノウレンノヤウナル物」と、室町時代に現れた語を用いています（図版1）。今の暖簾の原形で、当時は唐音「暖」を用いて「暖簾」と言いました。日本に暖簾がやって来た時の中国語の発音が反映されています。

「抄」の本文は、室町時代の儒学者・清原

宣賢（1475～1550）の講義に基づくとされるもので、最も伝本の多い系統に属します。当時の標準的な注釈書と言えるでしょう。

「原典」の奥書には伝写の経緯や過程が書かれています（図版2）。

「右写本者画月惟方楞公借請写之云々／〈本云〉永禄八乙丑九月十九日／八幡橋本常德庵有節慈貞〈印〉／此一冊并注抄先年壬午林鐘初二於／二条御所係兵烟失錯畢。此本伴重治借得写之／皆天正乙酉夏正下澣 権中納言兼成」とあります。



図版2

はじめ永禄8年（1565）に常德庵の有節慈貞（禅僧か。当時「常德寺」という禅宗寺院は八幡の橋本に存在）の書写した本を「画月惟方楞公」なる僧侶（これも禅僧か）から借りて写し（または画月惟方楞公から有節が借りて写した？）、その本を伴重治という人物が所持していたものを天正13年（1585）1月下旬に兼成が筆写したものです。

また、「此一冊并注抄」とあることから、「原典・抄」でひと組であることがわかります。筆跡も一致します。つまり、「抄」も兼成の書写したものです。能筆として知られる兼成だけあって端正な書きぶりです。

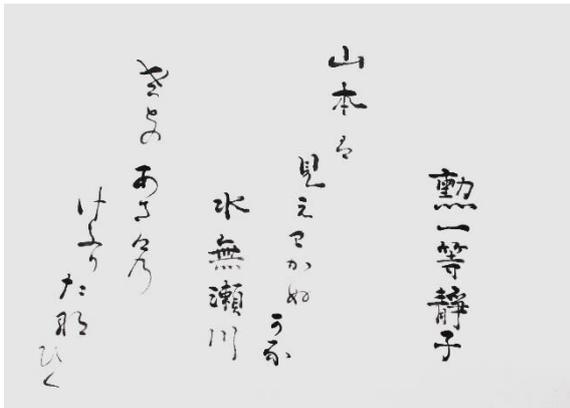
奥書にはさらに、天正10年（1582）6月2日に起こった本能寺の変の際、織田信長の息子の信忠のいた「二条御所」が兵火に遭って元の本が失われた、と書かれています。二条御所は当時、正親町天皇の第一皇子・誠仁親王が暮らしていましたが、近隣の妙覚寺に滞在していた信忠は父のいる本能寺の襲撃を聞き、急遽、守りの堅い二条御所へと移りました。親王は近侍の者と避難しました。この避難時に「原典・抄」を持ち出すことができなかつたのでしょうか。

（京都女子大学 准教授 山中延之）

6. 近代和歌資料の調査（令和6年度）

本年度調査の進んだ資料群から、少なくとも昭和5年（1930）以降、水無瀬宮では、後鳥羽天皇の忌日である22日に、毎月、御法楽歌会が行われていたことが明らかになりました。あらかじめ1年分の歌題が月ごとに水無瀬宮から示され、毎月20日締切で「美濃紙縦詠草」または「短冊」の書式で全国から社務所に多くの詠草が届いています。

後鳥羽・土御門・順徳天皇を祀る官幣中社水無瀬宮は、昭和14年（1939）3月1日には官幣大社に列せられて水無瀬神宮の号を贈られ、4月4日には後鳥羽天皇七百年御式年祭が行われました（官幣大社水無瀬神宮『水無瀬神宮文書』昭和16年）が、その式年祭を迎えるにあたり、水無瀬宮宮司 子爵 水無瀬忠政は、御歌所 長 公爵 三條公輝、子爵 日野西資博、正二位 清閑寺経房、従四位 千葉胤明、伯爵 冷泉為系、伯爵 大原重明、伯爵 庭田重行、子爵 町尻量弘に協賛を請い、三條公輝に出題を願って歌題は「水郷朝」と決定され、各宮家、御歌所向陽会等へ献詠をお願いしました。また、一般の人々にも2月末日を締切として献詠を募集します。4月4日の当日祭には皇族殿下12名から献詠が神前に奉奠され、冷泉為系およびその門下によって披講されています（官幣大社水無瀬神宮『後鳥羽天皇式年七百年祭 水無瀬神宮御法楽和歌集』昭和15年）。その中の1紙を紹介します。



図版3 久邇宮多嘉王妃静子殿下の和歌懐紙

図版3は「久邇宮多嘉王妃静子殿下の和歌懐紙」で、大きさは縦39.6cm×横52.8cm。「勲一等静子/山本は/見えわかぬかな/水無瀬川/さとのあさげの/けぶりたなびく」とあります。静子は、水無瀬宮宮司 水無瀬忠輔（忠政の弟）の長女として明治17年（1884）9月25日に誕生、明治40年（1907）に久邇宮朝彦親王の第五男子 多嘉王と結婚して三男三女を儲けました。図版3は56歳の時の和歌となります。

静子48歳の昭和6年（1931）には、夫の多嘉王とともに、土御門天皇七百年祭に献詠



図版4

しています。多嘉王の短冊（図版4右）は縦36.1cm×横6.0cm。萌黄色地に金の雲型（吹き付け）金の段霞（刷毛引）の装飾が施された上から黒々とした墨で「山紅葉 みなせ山もみぢのいろを千しほなる/むかしの秋もかくやそめけむ 多嘉」と記されています。静子の短冊（図版4左）は縦36.3cm×横6.0cm。薄縹色地に多嘉王の短冊と同じ装飾が施され「山紅葉 一しほはけさのしぐれやそめぬらむ/みなせの山の木々のもみぢ葉 静子」と記されており、短冊裏にも金砂子が散らされています。多嘉王の短冊も静子の短冊も大変豪華なもので、二葉は一緒に包紙に包まれて保管されています。

これらを含む近代和歌資料の出現によって、近世期に宮中で行われていた水無瀬御法楽歌会は、水無瀬宮においても、昭和に至るまで、月次神事として行われていたことが明らかになってきました。

（京都産業大学 教授 盛田帝子）

7. 近世・近代史料の調査（令和6年度）

令和6年度の調査においては、近代史料の調査を重点的に進めています。

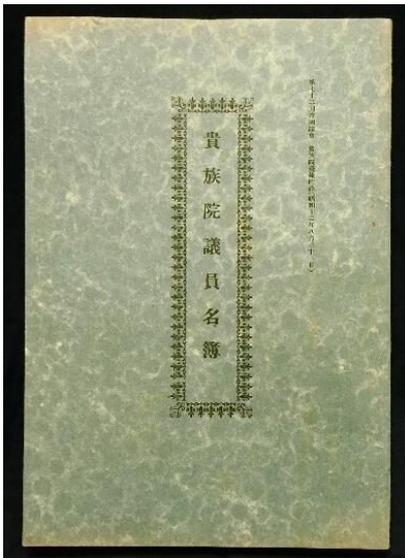
水無瀬家所蔵資料のうち、近代史料は約9,300点あり、令和6年度では貴族院議員関係資料の調査を進めました。

水無瀬家は近世では公家の中でも羽林家と呼ばれる家格でした。明治期以降、旧公家は華族となり、水無瀬家は子爵に叙爵されています。明治23年（1890）以降、華族などから貴族院議員が選出されますが、昭和7年（1932）12月17日の貴族院伯子男爵議員の補欠選挙により水無瀬忠政（1881～1963）が子爵議員に選出されました。

忠政は大正5年（1916）5月18日に宮司となり、宮司の傍ら、昭和7年12月17日から昭和13年（1938）6月17日まで貴族院議員を務めました。

昭和12年「貴族院議員名簿」（図版5）によると、議会ごとに忠政は東京へ通っており、常宿として「生進館」という「麴町区五番町一〇」（現在の東京都千代田区五番町）にあった宿を使っていたことが記されています。

貴族院議員として忠政は、院内会派である「研究会」に属していました。

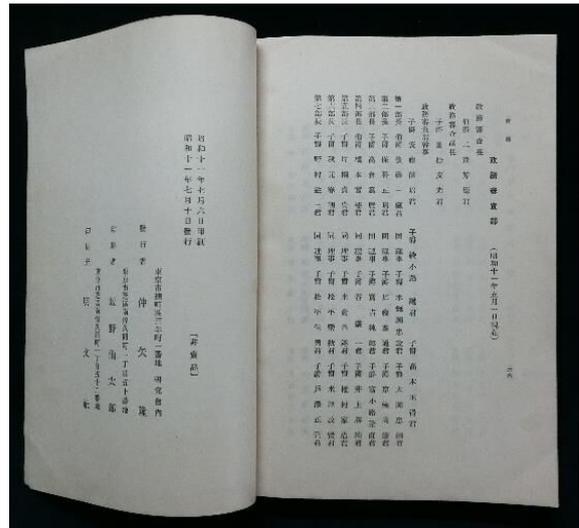


図版5 「貴族院議員名簿」とその掲載部分

科	研
子爵	水無瀬忠政
伯爵	三宅
侯爵	戸部
公爵	敬光

「研究会」は子爵、男爵からの互選議員が中心となって構成されている会派でした。

「第六十八回第六十九回帝国議会貴族院議事経過報告書」（図版6）によると、昭和11年には、忠政は研究会のうち、政務審査部の24名の政務審査部幹事のうち「第一部長理事」として名前が記されています。



図版6 「第六十八回第六十九回帝国議会貴族院議事経過報告書」の掲載部分

忠政の貴族院議員の活動としては、帝国議会の議事録によると、第六十七回帝国議会貴族院請願委員第二分科会（昭和10年2月26日開催）では、兵庫県津名郡多賀村（現在の兵庫県淡路市）の伊弉諾神社を伊弉諾神宮へ改称の請願を受けての説明を行っており、神職としての職業柄、神社に関する審議でその専門性を活かした発言している様子などが見受けられます。貴族院議員の関係資料の中には、議会で配布された資料や法案などに鉛筆によるメモ書きが残されています。

このように水無瀬家所蔵資料は、水無瀬忠政が宮司の傍ら貴族院議員を務めていた関係から貴族院関係の資料が多く含まれており、他の神社文書とは異なる特色を持った資料群と言えるでしょう。

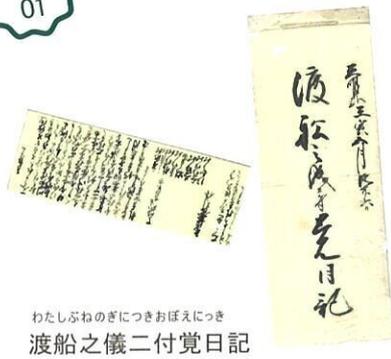
（植彌加藤造園 学芸員 重岡伸泰）

近世の高浜村 - 渡しと西田家 -

摂津国嶋上郡高浜村（現大阪府三島郡島本町高浜）の西田家は江戸時代から庄屋役を務めており、多くの古文書が残されています。その大半の古文書は関西大学図書館に所蔵されており、目録をはじめ翻刻が行われています。

今回の展示では西田家に伝わる古文書群を中心に、淀川の舟運「高浜の渡し」に関するものや、近世の高浜村の様子を伝える史料を紹介します。

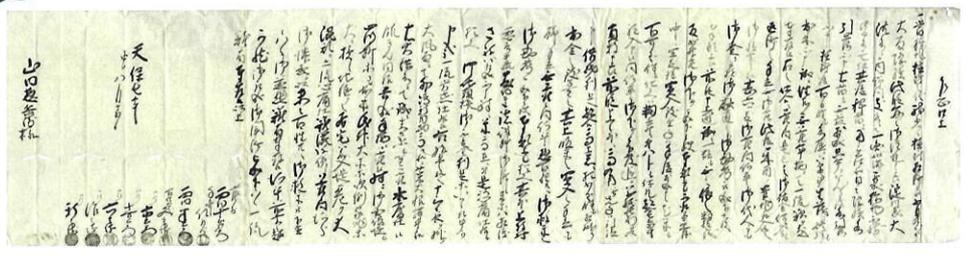
見どころ 01



わたしぶねのぎにつきおぼえにつき
渡船之儀二付覚日記

江戸時代、船持であった西田家に伝わる、天明2年（1782）5月26日から、天明6年（1786）11月22日までの渡船に関する文書類が綴られています。

見どころ 02



乍恐口上 おそれながらこうじょう

天保期（1830～1845年）は冷害などにより享保・天明の飢饉とならぶ大飢饉と称されます。高浜村でも天候不順で凶作が続くなか、天保7年（1836）5月に大雨が降り、淀川筋は大洪水となりました。この被害に対して、庄屋・百姓惣代等が領主宛に御救米（被災者を救済するための米）願を出しています。

講演会

※両講演とも午後1時30分（受付は午後1時）
※定員は各回先着順 100名

10月26日(土)

神戸女子大学 教授
村田 路人氏

11月16日(土)

朝日カルチャースクール 講師
飯沼 雅行氏

演題 摂津国嶋上郡高浜村
西田家文書に見る近世の淀川治水

演題 淀川の渡し船を巡る争論
- 高浜の渡しを中心に -

ギャラリートーク

11月2日(土) 午前11時・午後2時（各回とも30分程度）

町指定文化財

「水無瀬駒 関連資料」実物展示

- ・小将棋 漆書 八十二才銘
- ・中将棋 墨書 八十六才銘
- ・中将棋全集（全巻）



11月9日(土)・10日(日) 午前10時～午後4時

「中将棋に関連した講座とワークショップ」

11月9日(土) 午後1時30分（受付は午後1時）

中将棋連盟 理事 宮居 正芳氏
詳細情報は島本町HPをご覧ください。

成果報告

水無瀬家の逸品 - 所蔵資料調査から -

令和5年度に実施した水無瀬家所蔵資料調査で明らかになった近世文書と近世和歌資料、近代和歌資料などを展示し、調査成果の一部を紹介します。

第1期

10月17日(木)
～10月31日(木)

展示資料
後鳥羽院六百回忌次第 1紙
天保8年（1837）頃

第2期

11月1日(金)
～11月17日(日)

展示資料
水無瀬兼成自詠自筆 詠草集 1冊
慶長7年（1602）頃

第3期

11月19日(火)
～12月8日(日)

展示資料
・木製文台 1基 天明7年（1787）2月寄付
・三条公輝自筆 和歌懐紙 1紙 昭和初期



水無瀬兼成自詠自筆 詠草集

水無瀬家所蔵資料調査事業紹介

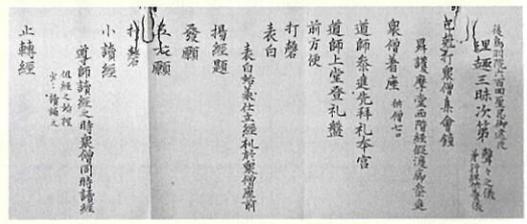
10月20日(日)

午前11時・午後2時（各回とも15分程度）

古文書調査の流れを簡単に解説するほか、調査現場を紹介します。



木製文台



後鳥羽院六百回忌次第



写真1 成果報告展「水無瀬家の逸品 ―所蔵資料調査から―」
展示状況（第1期）



写真2 成果報告展「水無瀬家の逸品 ―所蔵資料調査から―」
調査事業紹介開催状況（令和6年10月20日）

1 年間入館者数

入館内訳	回数	入館者数
展示	291日	13,549人
講演会	3回	89人
体験講座・イベント	10回	263人
合計		13,901人

※1日あたりの平均入館者数 47.8人

2 月別総入館者数

月	開館日数	入館者数	月	開館日数	入館者数
4	25日	1,664人	10	26日	1,201人
5	26日	1,659人	11	26日	1,971人
6	26日	972人	12	23日	1,036人
7	25日	868人	1	24日	943人
8	20日	459人	2	22日	710人
9	24日	953人	3	24日	1,113人
合計				291日	13,549人

※1か月あたりの平均入館者数 1,129.1人

※8/20～8/27 資料館耐震診断に係る調査のため休館

3 土日、祝日、振替休日入館者数

月	土日祝日等日数	入館者数	月	土日祝日等日数	入館者数
4	(9)	1,258人	10	(9)	832人
5	(9)	1,243人	11	(10)	1,509人
6	(10)	659人	12	(9)	846人
7	(9)	536人	1	(10)	728人
8	(10)	200人	2	(10)	223人
9	(11)	670人	3	(11)	903人
合計				(117)	9,607人

※1日あたりの平均入館者数 82.1人

(土日祝日等開館日数117日)

【内訳】

① 企画展

企画展名	開催日	開催日数	期間内 入館者数
「寄贈品展 ～受け継がれる歴史とモノ～」	4月17日(水)～5月19日(日)	33日	1,986人
「信仰と人々の暮らし—禹王伝承—」	5月22日(水)～7月21日(日)	61日	2,339人
「尾山遺跡泉跡再現遺構完成」	6月18日(火)～12月22日(日)	188日	6,943人
「令和6年度 町内発掘調査成果展」	7月24日(水)～9月8日(日)	47日	1,087人
「広瀬遺跡出土『宮』銘墨書土器」	10月1日(火)～12月1日(日)	62日	3,140人
「近世の高浜村—渡しと西田家—」	10月17日(木)～12月8日(日)	53日	4,288人
「水無瀬家の逸品 —所蔵資料調査から—」(第1期)	10月17日(木)～10月31日(木)	15日	820人
「水無瀬家の逸品 —所蔵資料調査から—」(第2期)	11月1日(金)～11月17日(日)	17日	723人
「水無瀬家の逸品 —所蔵資料調査から—」(第3期)	11月19日(火)～12月8日(日)	20日	1,541人
「水無瀬駒 関連資料実物展示」	11月9日(土)・10日(日)	2日	115人
「むかしの道具展 ～繕う・裁つ・紡ぐ～」	令和7年2月6日(木) ～3月23日(日)	46日	1,466人
合 計			24,448人

② 講演会

講演会名	開催日	入館者数
「淀川の水害碑と治水神・禹王」 講師：植村 善博 氏	5月25日(土)	22人
「摂津国嶋上郡高浜村西田家文書に見る近世の淀川治水」 講師：村田 路人 氏 (神戸女子大学教授)	10月26日(土)	30人
「淀川の渡し船を巡る争論—高浜の渡しを中心に—」 講師：飯沼 雅行 氏 (朝日カルチャーセンター講師)	11月16日(土)	37人
合 計		89人

③ 体験講座・イベント

ギャラリートーク(信仰と人々の暮らしー禹王伝承ー)	6月1日(土)	22人
ギャラリートーク(信仰と人々の暮らしー禹王伝承ー)	6月15日(土)	2人
ギャラリートーク(尾山遺跡泉跡再現遺構完成)	7月27日(土)	3人
ギャラリートーク(尾山遺跡泉跡再現遺構完成)	9月28日(土)	1人
水無瀬家所蔵資料調査事業紹介	10月20日(日)	5人
ギャラリートーク(近世の高浜村一渡しと西田家ー)	11月2日(土)	0人
中将棋に関連した講座とワークショップ	11月9日(土)	7人
島本町立第一小学校3年生 体験学習	2月7日(金)	77人
島本町立第二小学校3年生 体験学習	2月14日(金)	104人
島本町立第三小学校3年生 体験学習	2月20日(木)	42人
合 計		263人

④ 公募による催し・展示

内 容	開催日	参加者数
公益財団法人大阪府建築士会大阪府ヘリテージマネージャー協議会 「2024年大阪府ヘリテージマネージャー協議会総会」	4月20日(土)	57人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場、ピアノ演奏等」	4月21日(日)	412人
島本町農業振興団体協議会 「朝市」	4月27日(土)	80人
島本音楽フェスティバル実行委員会 「第11回島本音楽フェスティバル」	4月28日(日)	444人
若山神社祭事実行委員会(若山会) 「祭礼の昼食場所として使用」	5月5日(日)	150人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場、ピアノ演奏等」	5月26日(日)	738人
島本音楽協会 「津田由紀子 声楽ピアノコンサートリハーサル」	6月20日(木)	2人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場、ピアノ演奏等」	6月23日(日)	273人
島本音楽協会 「津田由紀子 声楽ピアノコンサート」	6月30日(日)	63人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場、ピアノ演奏等」	7月28日(日)	300人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場、ピアノ演奏等」	9月22日(日)	182人
島本音楽協会 「福井英里子ヴァイオリンリサイタル リハーサル」	9月23日(月)	2人

内 容	開催日	参加者数
島本町農業振興団体協議会 「朝市」	9月28日(土)	80人
S M A L L 「サントリーウイスキー製造者による講演&パネ ルディスカッション」	9月29日(日)	71人
島本音楽協会 「福井英里子ヴァイオリンリサイタル」	10月13日(日)	70人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場、ピアノ演奏等」	10月27日(日)	531人
島本町農業振興団体協議会 「朝市」	11月2日(土)	80人
島本福祉会作業所わくわく 「手話ダンス リハーサル」	11月8日(金)	60人
島本の森と水と健康を考える会 「木工体験とモルックゲーム体験イベント」	11月10日(日)	20人
島本町都市創造部にぎわい創造課 「第40回島本町農林業祭」	11月23日(土)	100人
島本文化協会ハーモニカ部 「ハーモニカコンサート」	11月23日(土)	60人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	11月24日(日)	307人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・吹奏楽・絵画展示等」	11月24日(日)	307人
島本福祉会作業所わくわく 「展示・手話ダンス発表会・出店」	11月30日(日)	120人
島本町農業振興団体協議会 「朝市」	12月7日(土)	80人
島本シンフォニックバンド 「吹奏楽の演奏」	12月8日(日)	80人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	12月22日(日)	243人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・コーラス・絵画展示等」	12月22日(日)	243人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	1月26日(日)	274人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・コーラス等」	1月26日(日)	273人
みなせ野 KEMARIクラブ 「稚児行列」	3月20日(木)	40人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	3月23日(日)	306人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・絵画展示等」	3月23日(日)	305人
合 計		6,353人

⑤ 団体入館

月	日	団体名	所在地	来館人数
4	4日(木)	島本町初任者研修	島本町	11人
	18日(木)	高知県 シアン会	高知県	10人
	26日(金)	中之島・考古学古代史探訪サークル	大阪市住吉区	50人
5	4日(土)	京都百人一首かるた研究会	京都市	15人
	12日(日)	茨木市立中津公民館	茨木市	20人
	17日(金)	大寿会	吹田市	13人
6	1日(土)	近畿益田会ハイキング部	兵庫県三田市	17人
	5日(水)	島本町小・中学校初任者・新転任者研修	島本町	19人
7	9日(火)	京都ソフトテニスクラブ	島本町	12人
	18日(木)	禹王研究会		5人
	21日(日)	近畿民俗学会2024年7月例会	高槻市	7人
9	25日(水)	星のクリニック	高槻市	10人
		吹田高齢クラブ連合会ハイキング部	吹田市	19人
10	27日(日)	西山ハイキングクラブ		17人
	30日(水)	向日市ほのぼの広場森		17人
11	4日(月)	ボーイスカウト京都連盟 桂川地区		50人
	9日(土)	阪急沿線観光あるき「西国街道コース」	島本町	21人
	13日(水)	(NTT-OB会) 電友会		13人
	17日(日)	NPO法人高槻市文化財スタッフの会 古文書グループ	高槻市	11人
	20日(水)	高槻市観光協会「島本町の人気スポットを巡るツアー」	高槻市	20人
		太極拳ふあんそん会	高槻市	10人
22日(金)	NPO法人高槻市文化財スタッフの会 伝統文化グループ	高槻市	15人	
12	8日(日)	旅人企画	摂津市	17人
1	19日(日)	JTB西国街道を歩く第1回	兵庫県伊丹市	21人
2	12日(水)	島本町立第二保育所	島本町	29人
	21日(金)	島本町立第二保育所	島本町	28人
	26日(水)	島本町立第二保育所	島本町	24人
3	12日(水)	パナソニック松寿会古代史散策部		13人
合計		28団体		474人

4 将棋(貸出)体験/その他

月日	返却日	内容	対象者	その他
1月10日	5月10日	中将棋貸出(2セット)	にぎわい創造課	
2月27日	3月6日	中将棋貸出(駒のみ)	にぎわい創造課	駒No. 1/10